

初等中等教育向け「GIS 研修プログラム」

(3)【演習】GIS 活用演習 **テキスト**

「ArcGIS」活用演習
(操作演習・教材作成演習)

「ArcGIS」活用演習(操作演習・教材作成演習)

(作成) 立命館大学地理学教室

「ArcGIS」で人口データ、標高データ等を使用した塗り分け図の作成、住所データから位置座標に表示するためのアドレスマッチング等を行う基本操作の手順を学び、Google Earth™に表示するマップづくり等に取り組みます。

■事前準備

GIS ソフト「ArcGIS」をインストールし、共用フォルダ内のデータをマイドキュメントにコピーします。

■研修実施**I. 「ArcGIS」の紹介**

1) 「ArcGIS」の構成

ArcMap：地図表示、空間解析、データ編集、主題図作成などを行う中核的なアプリケーション。

└ArcToolbox：データ変換や空間解析などの空間処理を一元的に実行することができる。

ArcCatalog：主にデータ管理を行うためのアプリケーション。

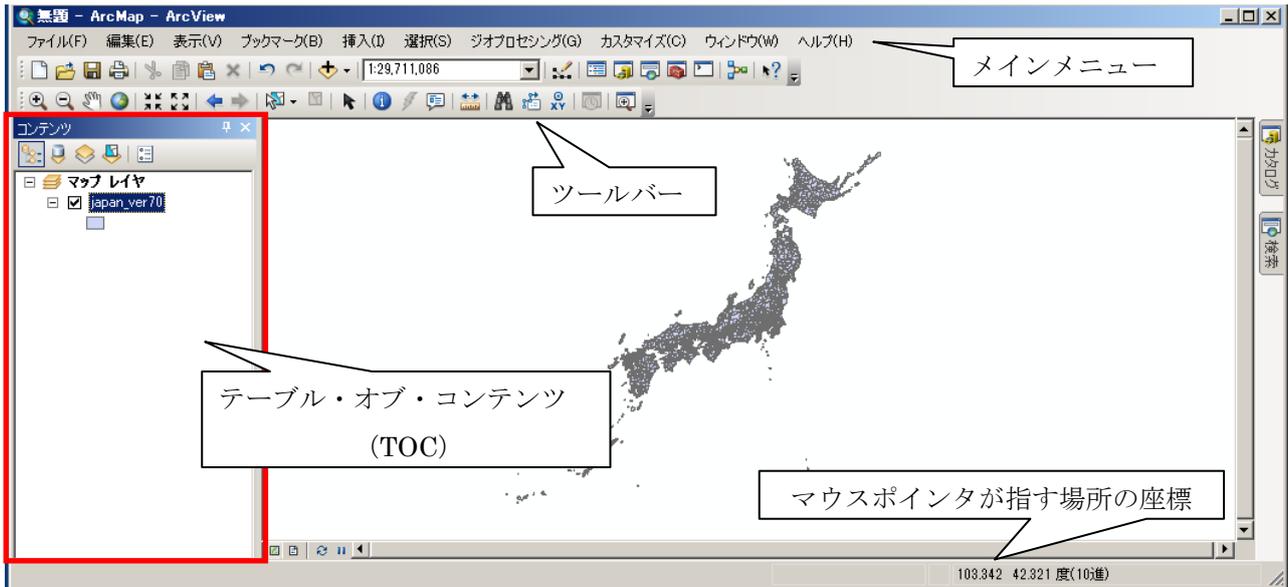
ArcScene：作成した地図を 3D 表示できる。

2) 「ArcGIS」→「ArcMap」の基本操作

◆「ArcGIS」の起動の手順：

[スタート] → [すべてのプログラム] → [ArcGIS] → [ArcMap 10]

3) 「ArcMap」の画面構成



[データの追加]



<ツールバーの説明>

-  マウスで指定した範囲に拡大、
  マウスで指定した範囲に縮小、
  25%拡大、
  25%縮小、
-  マウスのクリック&ドラッグにより表示範囲を移動、
  全体表示、
  直前の表示範囲に戻す、
-  フィーチャ（レイヤ内の図形要素）の選択、
  図形や文字などの選択、
  個別属性表示